

前期終業式の校長講話の後編です。

前号では、9月30日（月）の**前期終業式**での**校長講話**を前編を掲載しました。今号は、その続き、後編です。テーマは「**日本語力**」。最後にサプライズがありました(^_^)！

■前期終業式の校長講話■テーマ：「**日本語力**」（後編）■

- 2年前の2017年8月には、東京のセミナーで出口先生ご本人に会い、R80の話もさせていただきました。その出口先生から、先日「**会いませんか**」とメールをいただき、新宿のオフィスで会って、2時間もお話しました。その場で、刷り上がったばかりのこの本をいただいたのです。何と、サインもしていただきました。サインには、「**人生を変える勉強をしよう**」と書いてくださいました（前号の写真参照）。
- 『日本語力』というタイトルのこの本は、「**日本語を鍛えることで「論理」と「感性」が同時に磨かれる**」という内容で、左脳と右脳を同時に鍛える51の練習問題とその解説が書かれています。出口先生は、「**A I時代に活躍しようとするなら、「論理」と「感性」を同時に使いこなさなければならない**」と強調されています。私の考案したもので言うなら、**R80とA A Iを同時に使いこなす**ということになります。この本は、ベストセラーになる予感があります。生徒の皆さんにもお勧めの1冊です。1年次生でも読めます。
- 私は、アクティブ・ラーニングを**5年間研究**してきました。そして、今思うのは、やはり「**日本語の4技能**」が大切だということです。日本語を「**読む・聞く・話す・書く**」です。並木中等生は、そのことがとてもよくできていると思います。これからも、**正確で美しい日本語**を使いこなし、話すときは、**滑舌よく語尾までハッキリ話す**ように心がけてください。そして、その『日本語力』を駆使して、大学や社会で大活躍して欲しいと思います。
- さて、お待たせしました。夏休み前7月22日の全校集会の最後に、9月30日の終業式の最後に歌うことを予告していました。今日は、**弦楽アンサンブル部**のみなさんの伴奏で、歌わせていただきます。★下に降ります。
- 弦楽アンサンブル部の顧問は、音楽科の佐野啓子先生です。実は、私の**教え子**です。佐野先生が並木高校の3年生だった時、私がクラス担任でした。定年退職の年に、教え子の指揮で歌えることは**感慨無量**です。**教員人生**は、こうしてつながって行くものなのです。
- 曲は、私が校長に就任した2016年の7月にアカペラで歌い、2年前の2017年9月29日の終業式で、吹奏楽部の皆さんの伴奏で歌った曲です。あの時は、熱唱した結果、途中でマイクのアンプの**ヒューズが飛ぶ**というアクシデントがありました。今日は大丈夫だと思います。針が振り切れそうだったら、音量を下げてください。
- 曲は、**ゆずの「栄光の架橋」**です。この曲は、2004年のNHK『アテネオリンピック中継』公式テーマソングでした。よって、来年は耳にする機会がもの凄く多くなると思います。手拍子はせず、歌詞をかみしめて、聴いてください。それでは、弦楽アンサンブル部の皆さん、よろしくお願いします。

◆「栄光の架橋」熱唱♪◆

●本日の校長講話は以上です。ありがとうございました。

